

「京都府茶業振興計画」の概要について

令和 7 年 3 月 2 6 日
京都府農林水産部農産課

京都府における今後の茶業振興の基本的な方向や取組内容を示し、茶業者、関係機関・団体、府民を含めた多様な主体の共通指針とするため、「京都府茶業振興計画」を策定しましたので、概要を下記のとおり御報告します。

記

1 策定の考え方

(1) 趣旨

宇治茶の持つ高いブランド力をさらに発展させるとともに、スマート技術の進展や海外を含めた消費者ニーズの多様化を的確に捉え、将来を見据えたブランド戦略、生産戦略などを展開することにより、収益性の高い魅力ある茶業の実現と担い手の確保につなげる。

(2) 計画期間

5年間（令和7年度から令和11年度まで）

2 重点課題

(1) ブランド対策

- ・需要が減少傾向にある煎茶、玉露の新商品開発や新サービスの提供による需要創出
- ・本物志向や簡便化志向、健康、環境志向など、国内外の多様化する消費者ニーズへの対応

(2) 生産・産地対策

- ・需要の拡大に伴う加工用てん茶の高品質・安定生産、経営感覚に優れた新たな人材の確保
- ・最高級の手摘みてん茶・玉露の安定生産のための人材確保の仕組みづくり

(3) 文化振興・普及対策

- ・「京都府宇治茶普及促進条例」を踏まえた国内外への宇治茶の普及拡大、茶育の推進
- ・宇治茶の世界文化遺産登録に向けた構成資産の価値証明や保護措置、府民運動の強化

3 施策の展開方向

(1) 目指す姿

産業や文化と深く結びついた世界に誇る宇治茶ブランドを次世代に継承する。

(2) 施策の柱

① 歴史が裏付ける独自性とイノベーションによる多様性を活かした新たなブランド価値の創造

ア 玉露・煎茶等の新商品開発・サービス提供による新市場の創出

- ・観光、飲食業、異業種等と連携した歴史、魅力、おいしさを伝える多様な体験型のサービスの展開や新商品の開発
- ・新しい水出し煎茶や瓶入り宇治茶ドリンク「玉兎」等の新たな飲み方を提案できる商品の開発と国内外で宇治茶の歴史や魅力を伝え、需要を喚起する人材の育成

イ 高級マーケットのニーズに対応する宇治茶の品質確保と認証制度の構築

- ・ 多様な茶種の高品質栽培・製造技術の維持・伝承と各種茶品評会で上位入賞する取組の推進
- ・ 消費者が「宇治茶＝高級感、高品質」と再認識する商品ブランディングを行うため、茶業団体とともに新たな認証制度を構築

ウ 健康や環境、エシカルなど、異業種連携による多様な消費者ニーズへの対応

- ・ 医学系研究機関、茶業団体等と連携した高級茶に多く含まれる機能性成分ポリアミンやテアニンに着目した製品の開発
- ・ フードテック研究連絡会議における研究シーズの集積と、学研フードテック共創プラットフォームでの連携や京都食ビジネスプラットフォームの実需ニーズとのマッチングにより新たな商品開発プロジェクトを創出

② 収益性の高い魅力ある茶業の実現と担い手の確保

ア 各産地の特性に応じた高品質化・省力化のための新技術の開発と導入

- ・ 高品質な宇治種の新品種の普及拡大と、中山間地域での省力化や生産効率を高める摘採機や茶生育予測等マッピングシステム等を活用したスマート技術の推進
- ・ AI、ICTによる生葉のセンシング、製茶加工技術の見える化により、熟練者の持つ加工技術を次世代に継承・発展

イ 高価格販売につながる付加価値の高い宇治茶の産地・グループの育成

- ・ 産地や関係団体と連携し、歴史的・文化的価値の高い伝統的な手摘み茶の生産を支える多様な担い手を確保する仕組みの構築
- ・ 国内外で需要が高まる高品質な抹茶の生産拡大と、インバウンドや輸出を視野に入れた商品開発等を行う事業者グループのプロジェクト支援

ウ 宇治茶の産地を支える新たな担い手の確保・育成

- ・ 農業の基礎的な知識や技術を学ぶ「農業大学校」と、茶業経営に必要な経営力を身につけ先進経営体での実地研修を経て就農までサポートする「宇治茶実践型学舎」の研修制度を一貫体系とする新たなコースを創設
- ・ 先進的経営体や企業・大学、関係団体、市町村などの人材育成ネットワークを活用し、農家子弟を含む新規就農・就業者それぞれの発展段階に応じた技術力・経営力向上の支援

③ 歴史と伝統、文化に培われた宇治茶文化の継承と発展

ア 宇治茶文化の価値の共感・発信による普及拡大

- ・ 宇治茶カフェに加え、和食料理店や教育、文化、観光施設等と連携した宇治茶の魅力発信
- ・ 2025 大阪・関西万博を契機に宇治茶の歴史や喫茶文化、精神文化を再認識し、宇治茶に親しむ府民を拡大するとともに、国を始め様々な団体、施設等と連携し広く世界にも発信

イ 宇治茶の有形・無形の文化財の保存・活用の推進

- ・ 宇治茶の世界文化遺産登録のための暫定一覧表への記載に向け、「宇治茶の文化的景観」の資産価値の証明と保護措置、府民や地域の理解醸成を促進
- ・ 宇治製法を起源とする「手揉み製茶」の登録無形文化財を契機とした技術保存・伝承